

【専大校友を訪ねて】中小製造業の活路を開く(株)エヌシーネットワーク社長 内原康雄さん(昭63・経営)



「日本のモノづくりには世界に誇る技術がある。しかし、その職人さんたちが系列システムの底流に甘んじていたら生き残れない」

『挑戦する製造業のために』をキーワードに、日本最大級の中小製造業ビジネスコミュニティ「(株)エヌシーネットワーク」を運営している。

同社は全国の中小製造業のデータベースをインターネット上に構築し、受発注や情報の場を提供する「バーチャル工場」の役割を担う。このシステムを利用することで、従来の系列型取引を超えたさまざまなビジネスチャンスが生まれる。金型製造工業3代目でもあった内原さんの創意と挑戦で誕生した新たなビジネススタイルだ。

東京都葛飾区出身。経営学部に学んだ大学時代は「課外活動に積極的な『5時から男』でした」と笑う。文学研究会で活動したほかロックバンドを作って演奏活動や映画製作に挑戦。この時の友人とは今も交流が続いている。夫人の令子さんも同級生で経済学部卒だ。

「私のキャラクターはまぎれもなく大学時代に出来ました」

卒業後、メーカーの下請け2社を経て金型の設計・製造工場である実家の内原製作所の専務に。80年代の日本の製造業は、名実ともに世界に誇っていたが、バブル崩壊後、一挙に冬の時代に。内原さんの会社も例外ではなく、生き延びる方策を考えていた時、出会ったツールがインターネットだ。「これを利用すれば、受発注のチャンスが多彩に広がるのでは」

98年、同じ悩みを持つ若手経営者ら数人で現在の会社を設立。信用を得るとともにマスコミにも登場し、登録企業は200社から1万1000社を超えた。

「今後の目標は海外進出。近い将来、米・中に拠点を置き、世界に日本を売り込みたい」。内原さんの挑戦は続く。(エヌシーネットワークURL=<http://www.nc-net.or.jp>)

〔8月15日/ニュース専修5面〕